好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edupref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

裾野を広げる

数学科 入部 亮

十年ほど前の夏休み。一生に一度は富士山に登ってみたいとずっと思っていた夢が、ついに実現した。
百聞は一見にしかず。あのときの感動は今でも鮮明に覚えている。五合目から登山をスタートし、八合目の山小屋に到着。運動不足の私にとっては、ここまで来るだけでもへとへとであったが、水色とピンクに染まった空に、薄く月が現れる今まで見たこともないような光景が、疲れを全部忘れさせてくれた。夕食・仮眠をとり、未明に山小屋を再出発し、その後山頂に到着。適当な場所に陣取り、ご来光を待つ。東側の空のグラデーションが刻々と変化し、心が躍る。そして真っ赤で真ん丸の朝日が昇ると、周りからも歓声があがった。感動の光景である。ご来光を望んだ後、富士山頂の一番高い場所である剣ヶ峰に登り、山頂の火口をぐるりと回る「お鉢巡り」をしてから下山。標高三七〇〇m越えの富士山頂での絶景は、ご来光だけでなく、歩けそうなくらい眼下の空を埋める雲海と房総半島までそびえ立つ影富士、スカイツリーと関東平野の夜景の大パノラマは格別であった。

名峰富士山は標高三七七六mを誇る活火山である。その頂から美しい稜線を描き、裾野をはるか彼方までひたすらに続く。標高日本第一位の富士山が、第二位の南アルプス北岳と一線を画しているのは、高さもさることながら、その威風堂々たる立ち姿

であるからであらう。また、富士山は古来より日本の象徴であり、山岳信仰や葛飾北斎の浮世絵の題材にもなった。その文化的意義が世界的に評価され、富士山は二〇一三年にユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録された。この富士山が美しいのは、やはり頂上からのあの稜線があるからではないだろうか。富士山は静岡県と山梨県に跨がるようにそびえ立ち、広大な裾野をもっている。
富士山に関する本を読んだとき、「裾野論」という言葉があった。裾野論では、この富士山の頂を、目に見える成果または失敗として考える。私たちは目に見える成果や失敗ばかりに注目がちだが、裾野論で重要なことは、その結果よりも、それを支える広大な裾野に注目するということである。朝起きて眠るまでの生活をもう一度振り返ってみよう。規則正しい生活ができていないか、気持ちのよい挨拶ができていないか、清掃は心を込めてやっているか……。このようなこと一つ一つがやがて広大な裾野になり、確かな力をしっかりと支えているのである。日頃から、このようなことを丁寧にやっていると、やがて人の気持ちが変わり、小さな変化に気づき、その積み重ねが広大な裾野になってやがて富士山のウィルスの影響で、思うような行動がとれない日々が続いているが、君達には、ぜひ日頃の生活習慣や学習習慣を振り返り、あつた。裾野を広げることで大きく成長してほしい。

富士山と田子の浦の風景。美しい裾野を引く成層火山の典型である富士山は、古来より多くの歌にも詠まれてきました。

猛暑に涼やかな音楽の贈り物

第四十三回定期演奏会

8月10日(月)、令和2年度の定期演奏会が宝山ホールにおいて開催されました。昨年度は創立百二十五周年記念ということで例年以上に盛大な演奏会でしたが、今年度はコロナ禍により例年と比べて慎重な運営が求められる会となりました。音楽担当の新福先生を中心に、吹奏楽部・音楽部顧問、芸術科、保健課の先生方、生徒会も加わって、入念な感染症対策がとられ、来場して下さった保護者からは「しっかりと対策が取られていた」とのお言葉をいただきました。

ロビーの受付では、非接触型の体温計で検温を実施しました。

鑑賞時には、1席ずつ間隔を空けて着席することにご協力いただきました。

残念ながら県外の吹奏楽・合唱コンクールが中止となった部員にとつて、今回の定期演奏会は集大成の場であり、また同様の成果を披露できる最後の機会となりました。ある程度の緊張感もありながら、今回の演奏会が開催できたことに対する感謝の気持ちがこもった、心温まる、のびのびとしたステージだったのではないかと思います。

職員に限定せず、在校生・保護者・鑑賞いただいた皆様、開催にご尽力いただいた方々にお礼申し上げます。

ポップス・ステージのソロパートの演奏後は、温かい拍手が送られます

幕間のコーラスには、本校音楽部OGの上村萌先生も特別出演しました

のびやかな歌声が印象的だった音楽部の合唱の様子

32R赤瀬安寿美さんのピアノと吹奏楽部との共演

雪辱を果たして三年生が優勝

一・二年生も大健闘を見せる

第七十二回体育祭

9月5日(土)、第72回体育祭が本校グラウンドで開催されました。今年のキャッチフレーズ・サブタイトルは「Be The One」燃やせ情熱!! つなげ全力!!。考案者は、キャッチフレーズが伊地知知也君(24R)、サブタイトルが福山日奈子さん(33R)です。
夏休み明けの授業再開以降、本格的な練習が始まりましたが、今年は猛暑が続く、熱中症に気を付けながら練習することになりました。加えて、直前に台風九号が接近し、急遽、予行を一日前倒して実施するなど、体育科・教務課を中心に、臨機応変に対応しながら準備を進めてきました。
また、感染症対策のため密接を伴う競技の変更・見直しを行い、例えばマスゲームでは組体操を徒手体操へと変更しました。「鶴」をテーマに、どのような逆境にも負けない鶴丸生の飛翔を表現。曲のタイトルは「GO FORT VICTORY」。一・二年生から、来春に向けて奮起する三年生の先輩たちへのエールとなる、心こもった演技でした。さらに三年生のフォークダンスでは、スクールカラーである臙脂色の手袋を着用する工夫を施しました。
結果は、昨年の雪辱に燃える三年生が各種目で強さを見せつけ優勝。惜しくも優勝は逃しましたが、一・二年生も大健闘を見せました。閉会式後は翌日以降の台風十号に備えた片付けまで無事に終了し、体育祭を成功裏に終えることができました。

応援団による熱のこもった演舞

「スーパーガール」の競技風景

マスゲームより傘を使った演技

フォークダンスは手袋を着用

※発行時の予定です。変更にご注意ください。